

令和6年度 施策事前評価シート

施策責任者 所属	健康増進課 福祉保険課			電話番号	直通	986-8769 989-5513
基本目標	いきいきとした暮らしを支える 優しいながいずみ					
政策	健康で幸福を実感できるまちの実現			施策分野	保健・医療	
施策分野 の総事業費	前年度 決算額	206,262	千円	今年度 予算額	224,109	千円

施策の進捗状況

	成果指標名称	年度	現状値	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	単位	進捗 評価
1	特定健康診査の受診率	目標値		50	51	52	53	55	%	E
		実績値	48.0	46.3	47.5	45.7				
2	特定保健指導の実施率	目標値		37	41	45	47	50	%	D
		実績値	30.0	34.3	33.0	33.0				
3	がん検診精密検査平均受診率	目標値		85	87	89	89	90	%	E
		実績値	83.8	78.2	78.2	73.7				
4		目標値								
		実績値								
				総合評価			C：進捗が思わしくない			

事前分析

施策分野における これまでの 取り組みの概要	特定健康診査：受診率向上のための封筒・受診票等のリニューアル実施、郵送封筒を分かりやすく整った情報を伝えるデザインへ変更、特定健診未受診者に対してハガキによる受診勧奨通知の実施 特定保健指導の実施：特定保健指導実施について、指導相談等に繋げる電話勧奨の実施、特定保健指導の未利用者に対する保健師等の家庭訪問による保健指導の実施 がん検診精密検査平均受診率：当該年度全がん検診の精密検査未受診者に対する受診勧奨の通知の実施（毎年1月）
施策分野における 背景・環境 及び抱えている課題	・特定健診受診率および特定保健指導実施率については、いずれも国、県の平均値より高いが、国が定める目標値には達していない。特定健診を受診しない理由として通院中や多忙であることが考えられ、更なる受診勧奨方法の改善が必要である。特定保健指導は国が定める目標値との乖離が大きく、適時利用勧奨が必要である。また、国保被保険者は年々減少傾向にあるものの、一人当たりの医療費は増加傾向にあり、特定健診、特定保健指導による生活習慣病予防の取り組みが重要となる。 ・がんが疾病による死亡の最大原因であり、総合的にがん対策を推進する必要がある。また、各種がん検診における精密検査受診率が低迷する原因として、受診の必要性や受診方法を理解していない可能性や、検査への不安から敬遠している可能性がある。受診率向上のための効果的な受診勧奨を引き続き行っていく必要がある。 ・健診受診にあたり感染症対策を継続し、安全安心な受診環境の整備が必要。
施策分野における 改革・改善内容 及び今後の見通し	・特定健診受診率向上に向けて、町民に対して特定健診の重要性について理解を促進する手段を改めて整理する。未受診者に対しては個別の受診勧奨を実施していく。受診時の感染症対策を継続するよう、住民に周知する。 ・特定保健指導については、電話や案内による実施勧奨を積極的に行っていく。また集団健診では健診会場で初回面談を実施する体制を継続することや、土日やオンラインでも保健指導を実施できるよう体制を整えていく。 ・がん対策については、ピロリ菌検査等によるがん予防の促進やがん検診受診率向上のためにナッジ理論等の視点を取り入れた資料を作成するとともに、ハガキによる個別検診受診勧奨等にて引き続き精検未受診者へのフォローを実施していく。令和6年度は集団検診に子宮がん・乳がん検診を新たに追加し、対象者の利便性及び受診率の向上に繋げていく。感染症対策を踏まえた適切な医療機関の受診について対象者に周知する。